

万葉園だより

第30号

平成23年11月10日 発行

編集・発行 社会福祉法人 南相馬福祉会
特別養護老人ホーム 万葉園

〒979-2334 福島県南相馬市鹿島区西町三丁目3番地
TEL(0244)67-1551 FAX(0244)67-1552
TEL(0244)67-1554(たんぼぼ直通)
E-mail manyouen@orion.ocn.ne.jp
URL http://minamisoma.ask-daiko.co.jp/

〔事業内容〕
特別養護老人ホーム 万葉園……………定員50人
グループホーム たんぼぼ……………定員9人



3/19 福寿園のご利用者が万葉園へ。



3/19「老健リハビリよこはま」様が避難受け入れのため、万葉園へ。



3/19 万葉園より229名が横浜へ避難開始。



3/19～24 職員も横浜へ。



心をついに！
新たな出発に向けて
一步一步前に前に進もう！ 万葉園・たんぼぼ

これからも
よろしく
お願いします

仮設の居室の前で。



6/10 ご利用者、久しぶりの万葉園です。



心をついに！
新たな出発に向けて
一步一步前に前に進もう！ 万葉園・たんぼぼ

震災の苦難を 乗り越えて

万葉園・たんぼぼ施設長

大内 敏文

3月11日に発生した東日本大震災で、鹿島区も震度6を記録した。

幸いにもご利用者、勤務職員には怪我もなく施設の損傷も大きなものはなかったが、地域の被害状況の情報が入ってこない。

津波で大きな被害が出たとの未確認の情報、海岸から1km以内に自宅がある関係者が多数いる。

時間の経過と共に、職員の自宅が津波で流失、利用者Oさんのご家族が行方不明、原発が水素爆発し各地で避難命令がでていとの情報が入る。

目に見えない放射線という恐怖の中、病院が閉鎖を決定、燃料も介護用品も手に入らない中、利用者との職員の安全のため横浜に避難を決定した。

高齢で様々な疾病を持つご利用者には身体的にも精神的にも多大な負担をお掛けした。

幸いにも震災後3カ月で再開することができたが、一時は、定数59人の施設に95人のご利用者を受け入れざるを得なかった。

ご利用者の皆さんが戦後、荒廃した国土を見事復興された。我々も子や孫に、あの震災後の地域を復興した人達と言われるよう努力して参りたい。

納涼祭



万葉園の再開が
決まった5月の終
わり頃、施設長か
ら「利用者の方、
地域の方、被災さ
れている方に元気になっ
ていただきたいので、納涼祭は
通常通り8月にやる！」と伝
えられました。まだ再開して
いない状態で、通常なら実行
委員会を行う時期だったこと
もあり、職員達は「本当にで
きるのだろうか…、お客さん
は来てくれるだろうか…」と
いう不安な気持ちもありまし
たが、無事8月20日(土)に納涼

祭を開催することがで
き、多くの方に来園して
いただきました。
施設長の熱い想いを受
け、催し物担当者は演歌
歌手、ものまね芸人、ア
イドル…と何件もの芸能
事務所と電話交渉をする
毎日。その中で快くすべ
にお引受けくださった方
が梅沢富美男様、TOK
IO様でした。二つの事
務所の方々は、映像によ
るメッセージ、直筆のサ
イン入りの本やタオルな
ど、こちらからお願いま
した以上のプレゼントを用

いほど息の合ったすばらしい
演奏で感動をいただきました。
その他、蒔田小百合様に
よる歌謡ショーも行われまし
た。クライマックスは打ち上
げ花火。中にはハート型の花
火もありとてもきれいで迫力
のあるものでした。
このような状況で納涼祭を
開催できたのも、遠くからお
集まりくださった盆踊り演奏
や唄の皆さん、そしていつも
力を貸してくださる万葉園ボ
ランティアの皆さん、その他
大勢の方々のご協力、ご支援
のおかげです。本当にありが
とございました。



ご家族との記念写真です。

ハッピー似合ってますか？



息の合った演奏です！

祝敬老会



9月15日(木)、万葉園・た
んぼ合同で敬老会を開催
しました。毎年会場として
いる万葉園の大食堂が仮設
の居室となっているため、
鹿島区の保健センターをお
借りして開催することがで
きました。
賀寿状授与は厳粛な雰囲気
の中で行われ、授与者の
最高齢では白寿(99歳)の
方もいらつしました。
賀寿状授与の後、あきえ会
の方々に歌や踊りを披露し
ていただき、ご利用者の皆
さんは歌に合わせて踊った
り、手を叩いてリズムを取
るなど楽しく過ごされまし
た。

行事再開しました！

ご利用者の皆さんに震災前と変わらない生活をしていただけるようにと例年同様多くの行事を行っています！

お盆にはご利用者から希望を募り、お墓参りを実施しました。先祖代々のお墓に手を合わせ、お参りをされている姿に職員一同胸が熱くなりました。

その他にも、仙台七夕飾りの作成、鹿島区での夏祭り・花火大会への参加、お月見団子作り、芋煮会などご利用者の皆さんも参加して楽しんでいただけるような行事を行っています。

ご利用者の笑顔を見るたびに、また万葉園で生活を送っていただけるという喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、風邪などひかれずに、元気に過ごしていただけたらと思います。

芋煮会



鹿島区夏祭り

仙台七夕飾り



お月見団子作り



お墓参り



芋煮会での焼きそば作りです。

たんぽぽはご利用者が戻られたのは、6月1日から準備を始めて2週間後の6月14日のことでした。初日は5名からのスタートでしたが、その後も予定通りに入所していただき、7月8日にはご利用者が揃い、皆さん元気な様子で再会を喜び合いました。当初は職員も含め人数も多く、新たなメンバーでの再出発は慌ただしく日々が過ぎていきました。南相馬市での生活をまた始められるという喜びの反面、自宅を津波で流された方や避難先で亡くな

クループホーム
たんぽぽです



天気がいいので皆でドライブ！
ちょっと休けいです。

られた方もおり、皆さんそれぞれに辛い思いをされたようです。職員としては少しでも早く元の生活に戻っていただきたい、そんな思いでいっぱい입니다。今後ご利用者が笑顔になっていただけるよう職員一同頑張っています。



ボランティアさんが来てくれました！

